

一般社団法人 日本看護系大学協議会 社員各位

平成 27 年度 日本看護系大学協議会看護学教育質向上委員会事業活動
「看護系大学における『地域志向のケア』教育強化に向けた取り組みに関する研究」

アンケート調査ご協力のお願い

一般社団法人 日本看護系大学協議会
看護学教育質向上委員会 委員長 村嶋幸代

初冬の候、皆様にはご健勝のこととお慶び申し上げます。

平成 23 年に文部科学省から出された「学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時の到達目標」で明示されているように、看護における地域への志向性の育成は、看護学基礎教育の中で不可欠のものです。『地域志向のケア』とは、看護の対象者が「地域で暮らす生活者・当事者」であるという見方を中心に据え、病院での療養生活を中心とした看護から、地域社会における生活支援を含めた包括的な看護ケアへと発展させるものです。

日本看護系大学協議会の看護学教育質向上委員会では、平成 27 年度事業として「看護系大学における『地域志向のケア』教育強化に向けた取り組みに関する研究」を行っています。この度、その一環として、全会員校を対象にアンケート調査をさせていただくことになりました。ご多忙の折、大変恐縮に存じますが、平成 27 年 12 月 21 日（月）までに、下記の要領で、ご回答いただけますよう、宜しくお願い致します。

本結果は、平成 27 年度一般社団法人日本看護系大学協議会の事業報告書で会員校にご報告する他、看護系学会等で公表させていただく予定です。地域包括ケアシステム構築の重要性が認識される中、『地域志向のケア』教育強化は、各看護系大学にとって、重要な事項だと思います。何卒ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

記

○調査項目

- I. 貴大学の属性
- II. [学士課程においてコアとなる看護実践能力と卒業時到達目標]の内、『地域志向のケア』との関連項目で
 - A. 貴学科の【必修科目】のシラバスで講義・演習・実習の目標または内容として掲示されている科目
 - B. 実習フィールドと実習科目
- III. 『地域志向のケア』教育強化に向けた大学としてのビジョンと取り組み

○研究ご協力に対する配慮

1. 本調査へのご協力及び、調査票へのご回答や返信は、貴大学の自由意思によるものです。また、本調査に協力しないことによって不利益を被ることは一切ありません。
2. 調査から得られたデータおよび結果は、本研究目的以外に使用することはありません。調査票の管理・データ管理は施錠可能な場所に厳重に管理し、研究終了後に復元不可能な状態へと処理します。
3. 研究結果は、平成 27 年度一般社団法人日本看護系大学協議会の事業報告書において公表する他、看護系学会等で公表する予定です。公表に際しては、大学名が特定されることはありません。

○回答方法

1. それぞれの設問に対する回答は、該当する項目に記入するか、あてはまる番号・記号に○印をつけていただく形式になっています。科目名に関しては、科目コード表からお選びください。該当する科目名がない時は、恐れ入りますが貴大学の科目名称を具体的にご記入ください。
2. 設問に対する回答は、特段の事情がない限り、社員が、必要に応じて『地域志向のケア』にかかわる授業科目等の担当者等と協議し、平成 27 年 11 月 1 日現在の状況についてご回答ください。
3. 入力後の調査票は、平成 27 年 12 月 21 日（月）までに、JANPU 事務局にメールでご提出ください。

【アンケート回答送付先】 一般社団法人 日本看護系大学協議会 E-mail: office@janpu.or.jp
TEL: 03-6206-9451 FAX: 03-6206-9452

【お問い合わせ先】 大分県立看護科学大学 村嶋幸代 E-mail: murashima@oita-nhs.ac.jp
赤星琴美 E-mail: akahoshi@oita-nhs.ac.jp
TEL: 097-586-4300(代表) FAX: 097-586-4370